

保護者の皆様

西東京市立谷戸小学校
校長 野崎 信行

平成30年度 2学期 学校評価アンケート結果

日ごろより、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。さて、12月にご回答いただきました学校評価のお礼とご報告をいたします。同時期に行った1～6年生の意識調査の結果も合わせてご覧ください。この結果は、保護者・地域の皆様からの貴重なご意見として受け止め、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。

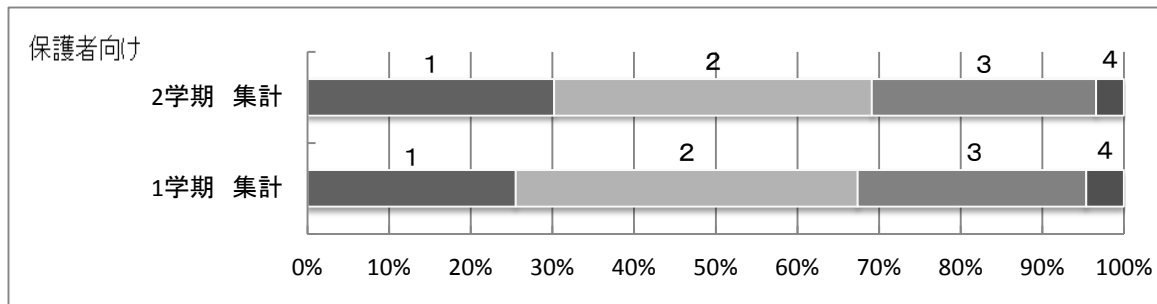
保護者アンケート集計結果(12月)

配布数	回収数	回収率
353	323	91.5%

グラフの色と見方

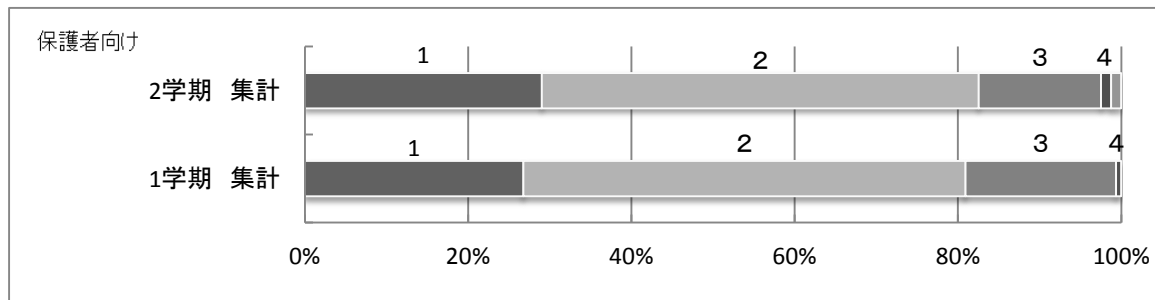
	1. よくあてはまる		3. あまりあてはまらない
	2. あてはまる		4. 全くあてはまらない
			5. 無記入

1. お子さんは、読書に親しんでいる。



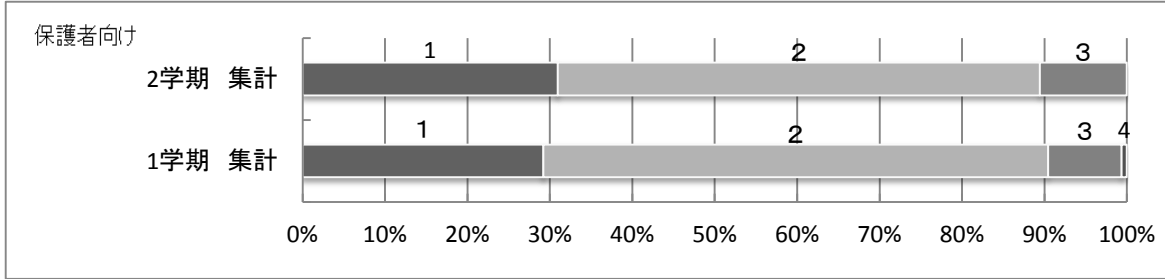
1学期と比べて、よくあてはまるが増えました。さらに少しあてはまるまで含めると1学期より2学期の方がより多くの児童が読書に親しんでいることが分かります。学校では、学校司書と連携し図書室や谷戸っ子南ルーム掲示板の読書に関する掲示や、図書便りの発行を行うことで、本に親しむきっかけ作りをしてきました。また保護者の方の読み聞かせボランティアのご協力が、子供たちと楽しい本が出会う場となっています。11月は「秋の読書週間」として本に関わるビンゴカードや先生方の読み聞かせ、1～3年生までは親子読書にも取り組みました。今後も読書を進める活動を続けていきます。

2. お子さんは、国語の学習(主に漢字等の読み書き)がおおむね正しくできている。



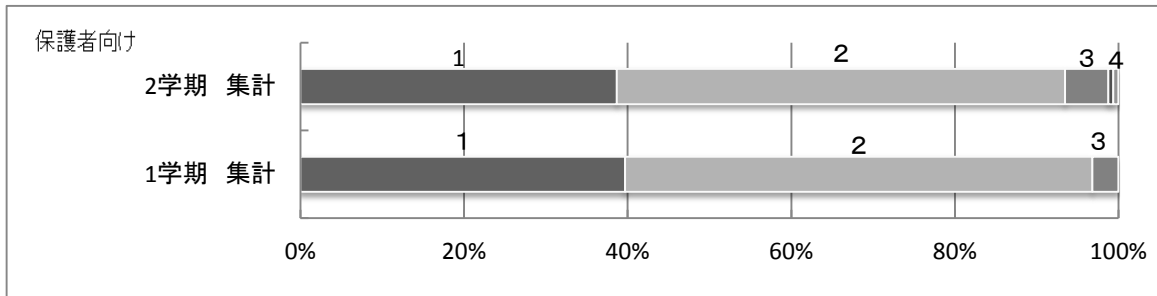
1学期に比べ、「よくあてはまる」が増え、「あまりあてはまらない」が減りました。今後も日々の書き取り学習に加え、作文指導等を通して既習の漢字を使用する力を高めていきます。ご家庭でも漢字学習の宿題などの様子をご覧になって、励ましていただければと思います。

3. お子さんは、算数の学習(主に計算)がおおむね正しくできている。



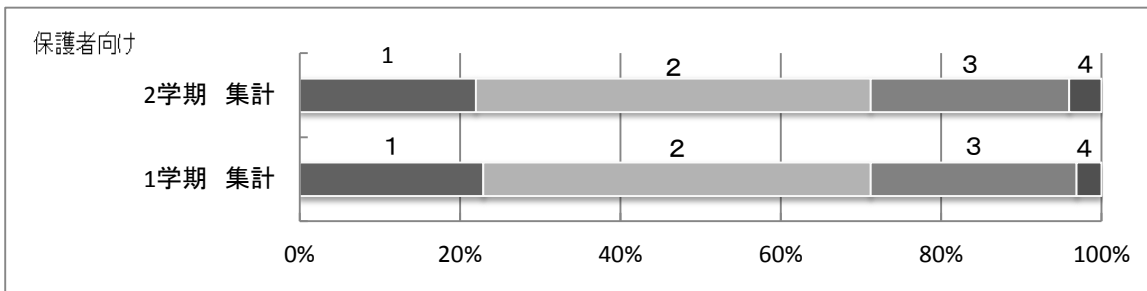
1学期と大きな違いがなく、全体的には学習の成果を感じていただいています。学年が上がると、具体的な出来事を算数の場面に置き換えて考えるが増えていきます。そのときに、既に習った計算ができることが前提になるので、ご家庭でも計算ドリルの取り組みを見てくだされば幸いです。学校では「東京ベーシック・ドリル」で以前の学年の復習をしながら、授業で子供の思考力を伸ばす取り組みを続けていきます。

4. 教師は、考えを伝え合う話し合いや発表することを大切にして授業をしている。



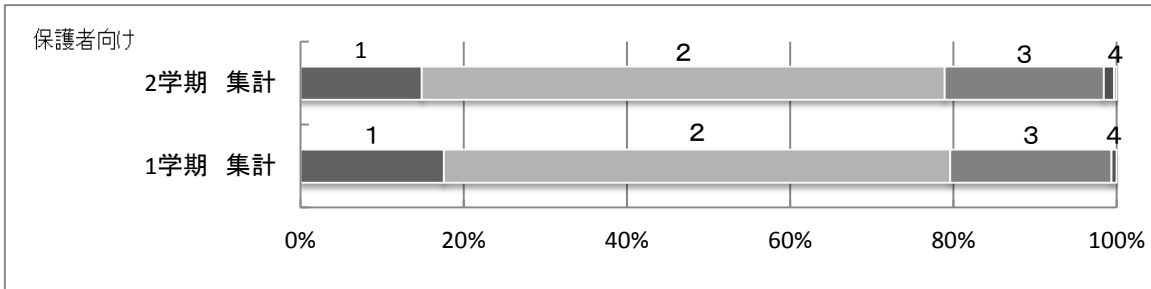
本校では、集団で課題を解決するために必要な技能である「話し合う力」を身に付けるために、朝・帰りの会も含めて話す・聞く活動に取り組んでいます。低学年では、自分の思いや考えを相手に分かりやすく伝えるための話型の指導をしています。中・高学年では、友達の意見と関連付けて話し合ったり、的確に質問をしたりするための観点を具体的に示して指導にあたっています。2学期は、1学期に比べて「あまりあてはまらない」と「あてはまらない」が増えました。これを大きな課題であると受け止め、国語科を中心に他の教科でも意識して取り組み、さらに力が付くよう努力していきます。

5. お子さんは、「げんきいっぱいカード」の取り組みで、意識して規則正しい生活をしている。



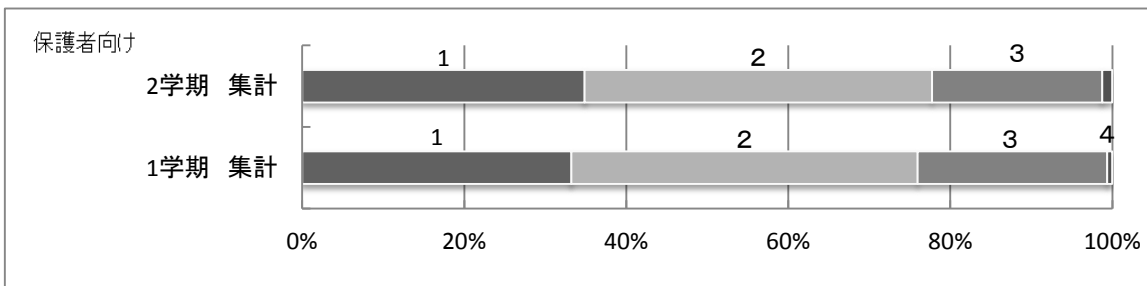
1学期2学期とも同じくらいの割合ですが、夏休み中の保護者の皆様からのコメントから、就寝時刻について遅くなりがちな子供たちの様子が伺えます。「げんきいっぱいカード」を継続して取り組むことを通して、子供たちが自分の生活を意識して過ごすことの大切さを実感できるよう工夫し、努めていきます。これからもご協力よろしく願いいたします。

6. お子さんは、家族や地域の人、学校の先生、友達に対してすすんで挨拶をしたり言葉遣いに気を付けたりしている。



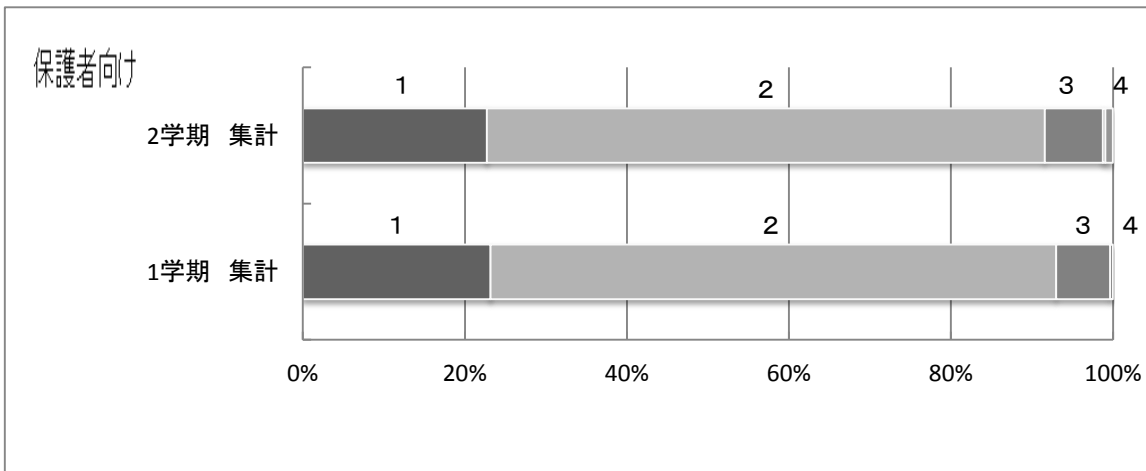
今年度は、「あいさつ運動」を全校で行いました。6年生から交代でスタートし、1・2年生も自分たちのクラスに順番が回ってくると、張り切って運動に参加していました。登校する児童に対してだけではなく、近隣地域の方、校門の前を通る方にも挨拶をして、「挨拶をすると、挨拶を返してもらえる」という喜びを感じたようでした。これからも元気のよい挨拶が学校中に広がるよう指導していきます。

7. お子さんは、外遊びや運動をする習慣が付き、体力が向上している。



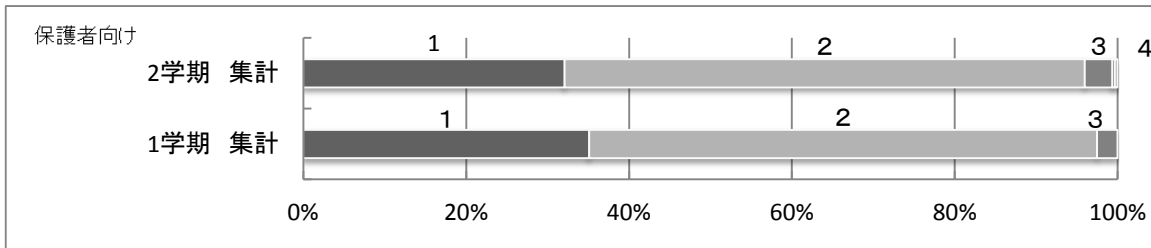
1学期よりも、「よくあてはまる」「少しあてはまる」を合わせた回答が増え、ジャンプアップでの成果を感じていただいています。2学期は、長縄ジャンプアップや短縄ジャンプアップの取り組みを実践しました。また、3学期にはマラソンジャンプアップに取り組みます。習慣的に運動や外遊びをできるように、これからも休み時間や放課後、休日でも体力の向上を目指すことができる取り組みを続けていきます。

8. 学校は、安心した学校生活を送れるようにするために生活アンケートや面談に取り組んでいる。



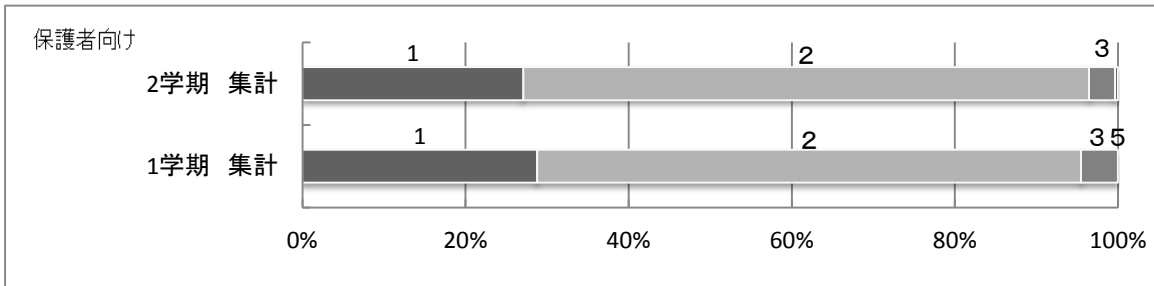
児童に対して、毎学期、生活アンケートを行い、それに基づいて担任と児童が面談を行っています。児童が抱えている問題を早期に発見し、対応できる体制を作っていきます。また保護者の方に対しては、全員対象の面談や希望個人面談の時間を設けています。面談期間以外でも、お子さんの様子で気になることがあれば、いつでもご相談ください。

9. 学校は、教育方針や教育活動について、学校便り、学年・学級便り、保護者会、ホームページなどでよく伝えている。



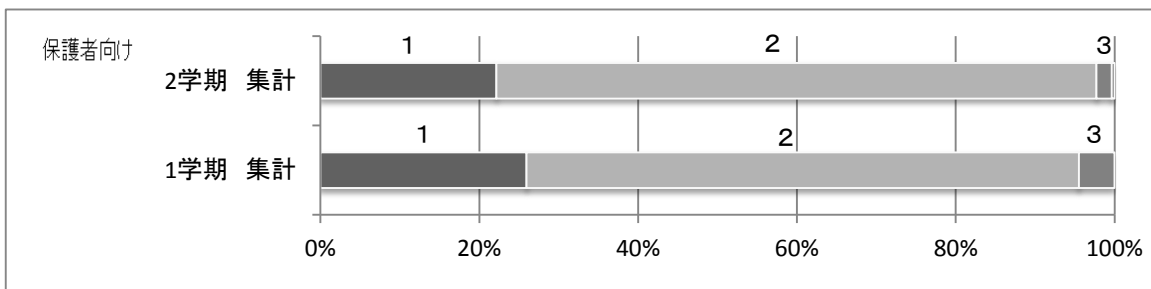
1と2で90%以上になっています。ホームページも、月2回程度の更新を行いました。今後も学校や児童の情報を分かりやすくお知らせできるようにしていきます。

10. 学校は、特別支援教育をはじめ、児童一人一人を大切にされた教育支援を行っている。



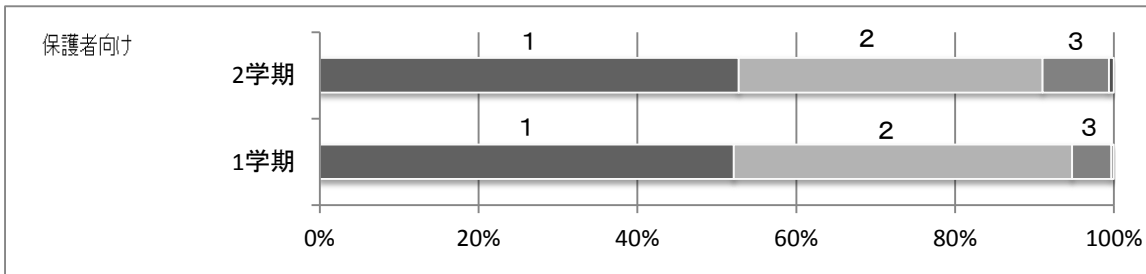
特別支援教室の拠点校である谷戸小での指導人数が増え、毎日午後の時間にも支援教室が開かれています。小集団がメインとなるS教室は、比較的長期のスパンで子供たちを見ていきますが、週に一度のL教室では1～2年程度の短期スパンで児童の課題に向き合います。支援を受けてしばらくたつと、自分の苦手の原因をつかんだり、得意な事が明確に分かったりすることが多くあります。子供に寄り添って支援を行うために、今後ともご理解ご協力をお願いします。

11. 学校は、外部教育力として、地域・保護者の協力を得て学校教育の充実を進めている。



今年度も地域や保護者の方の協力を得て、様々な体験学習を行うことができました。オリンピック・パラリンピック教育の一環として、多文化共生センターを通じてタジキスタンの方をお招きし、5年生にくらしや文化について教えていただきました。3学期には1年生に昔遊びを教えていただく方もお迎えする予定です。保護者の方には、校外学習の引率、調理の補助など多くの方にご協力いただき、大変ありがとうございます。今後も、皆様の協力を得ながら、学校教育の充実を進めていきます。

12. お子さんは、楽しく学校に通っている。

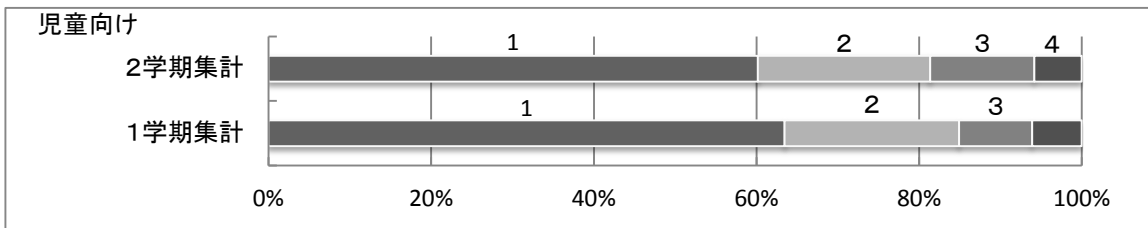


学校では、授業改善や生活指導など、様々な面から児童が安心して学校生活を送ることのできるよう取り組みをしています。「楽しく通っている」がさらに増えるよう、担任をはじめ学校職員とご家庭との連携を密にしていきます。

— 児童向けアンケート結果

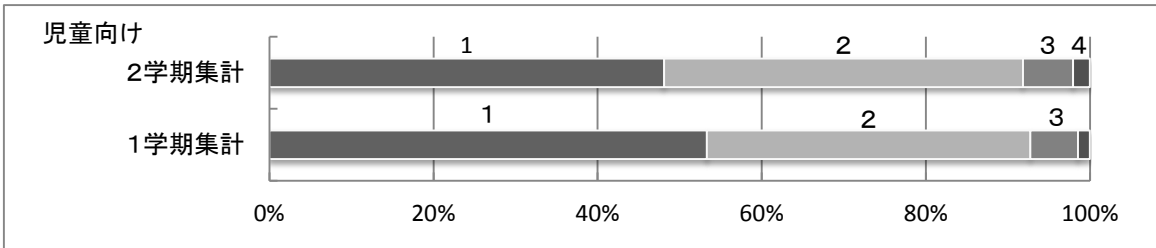
2～6年生の児童に実施しました。

1. 1週間に1冊以上の本を読んでいる。



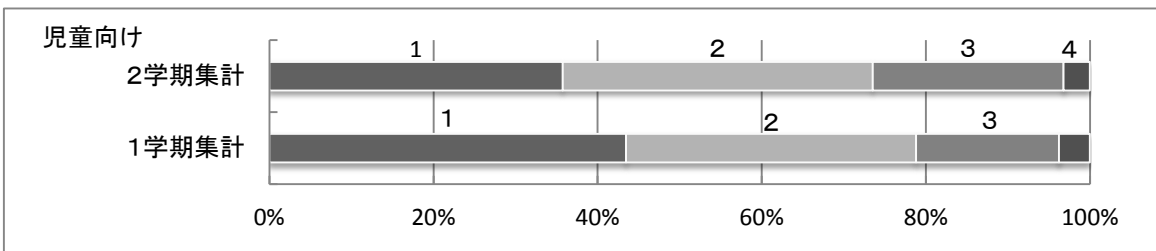
2学期になり1週間に1冊以上の本を読む児童が減りました。保護者用アンケート1の結果と合わせて考えると、1冊のページ数が多い本を1週間以上かけじっくり楽しんでいるのだと思います。学校では、朝読書や図書を使ってどの教室でも集中して読書に取り組んでいる姿が見られます。一部、読むことが苦手な児童もいるので、進んで読書を楽しめる児童の育成を行っていきます。

2. 授業に一生懸命、参加している。



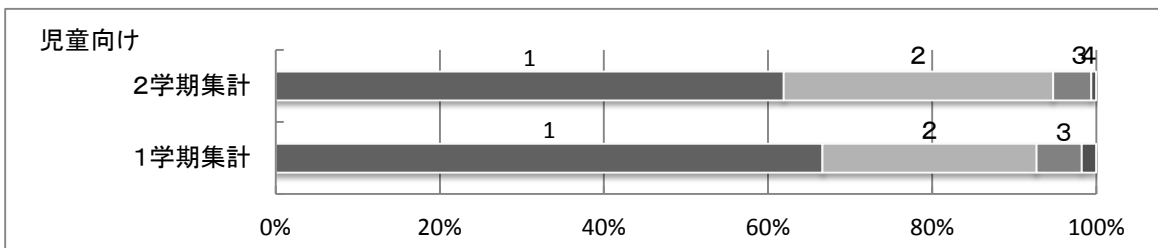
1学期同様、多くの児童が積極的に授業に参加していることが分かります。しかし、1学期に比べて「よくあてはまる」が減り、「あてはまる」が増えています。3学期は、「よくあてはまる」が増えるよう、授業の課題提示を工夫したり、興味・関心が高い話題から学習に入ったりすることで、子供たちの参加意欲を高めていきます。

3. 話し合いや発表会で自分の考えを伝えることができている。



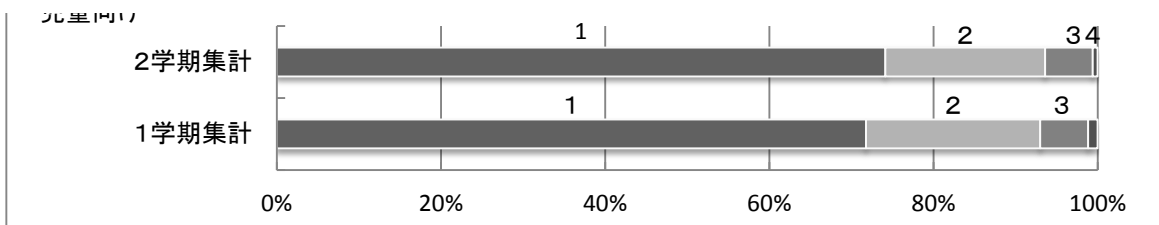
全体の傾向として、多くの子が表現に対する意欲や達成感をもっていると考えます。しかし、1学期に比べて「よくあてはまる」が減り、「あまりあてはまらない」が増えました。この問題を解決するために、ペアやグループで話し合う活動を授業に取り入れたり、子供たちが話し合いたいくなる問いを投げかけたりしていきます。

4. 授業は分かるようになったり、できるようになったりしている。



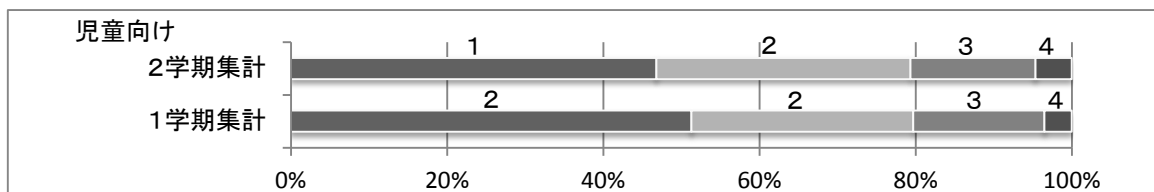
「あてはまらない」が減り全体の傾向として、自身の学力向上を自覚している児童が多いと考えます。しかし、1学期に比べて「よくあてはまる」の数が減っています。「よくあてはまる」が増えるよう、視覚的な配慮や個別の支援を心掛けていきます。

5. 体育の時間は、たくさん運動している。



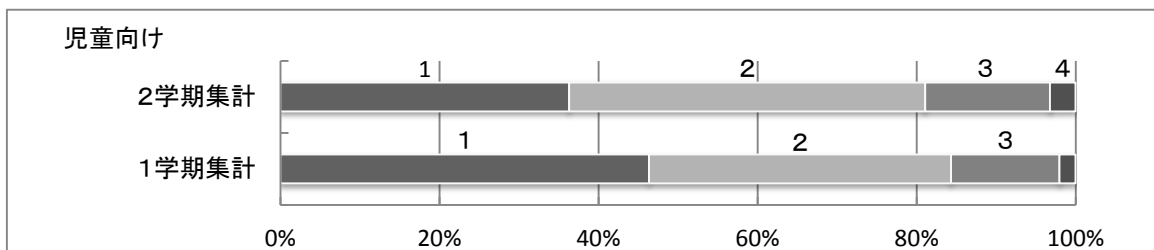
90%以上の児童が、体育の時間によく運動をしています。授業では、準備運動から汗をかけるように、また、運動する時間を多くとるように計画をしています。学年にふさわしい技に取り組んだり、ゲームのルールを工夫したりして、「わかった」「できた」を感じられる学習をしています。

6. ジャンプアップで、外遊びや運動する習慣がついている。



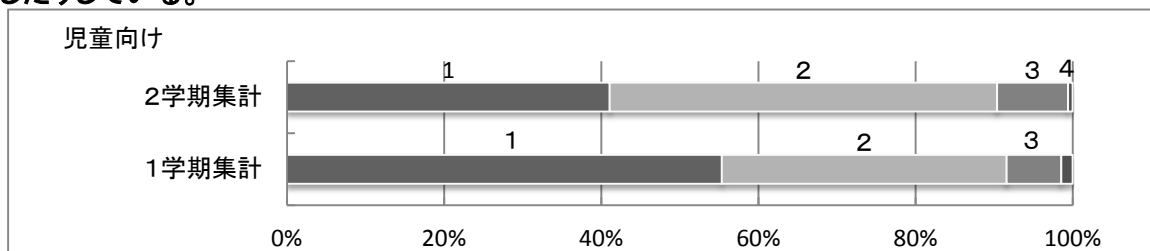
80%程度の児童が外遊びや、運動をする習慣が身に付いていると答えています。2学期後半は寒くなり、外に出るのが億劫になりがちですが、子供たちは遊びの中で体力を向上させるだけでなく、人間関係や遊びの決まりも学びます。今後も、現在取り組んでいるジャンプアップを活用しながら、休み時間、放課後、休日に運動や外遊びを行えるよう奨励していきます。

7. 「げんきいっぱいカード」の取り組みで、意識して規則正しい生活をしている。



休み中は、少し気持ちが負けてしまうところもあるようですが、80%以上の児童が、「げんきいっぱいカード」を活用して、自分の生活習慣を見直しています。保護者の方からも、「だんだん自分からできるようになってきました。」「子供がやる気になってくれるし、生活習慣の見直しになります。」との声もありました。これからも継続して取り組み、意識を高めていきます。

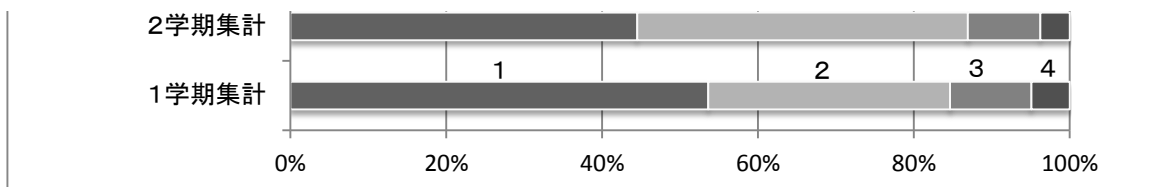
8. 家族や地域の人、学校の先生、友達に対してあいさつやありがとうの言葉を言ったり正しい言葉遣いをしたりしている。



約85%の児童が、挨拶や言葉遣いを意識して過ごしているようですが、1学期に比べると「よくあてはまる」の数が減っています。2学期、特に、友人関係も慣れてきたと感ぜられるようになり、友達に対しての言葉遣いが意識できていない様子が見られます。また、登下校でお世話になる交通擁護員や内外清掃員への挨拶もまだまだ少ないと感じます。自分のまわりにいる人への挨拶や言葉遣いをもう一度見直しながら、さらに意識できるような取り組みを続けていきます。

9. よいクラスになるように、みんなで協力している。





よいクラスにするために子供たちに「学級力アンケート」の取り組みをしています。アンケート結果から、児童がよりよいクラスにするためにどうしたらよいかを考え、クラスのめあてを考えました。1・2学期ともに80%以上の児童がよいクラスにしようと考え、協力しています。進級に向けてさらに高めていくことを考えています。

お忙しい中、学校評価にお答えいただきありがとうございました。いただいたご意見を参考に、本校の教育活動に生かしてまいりますので、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

